

2025年度
助産別科
入学者選抜問題
小児看護学

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に以下の例のようにマークしてください。
(例)

解答										
1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
2	①	②	③	●	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

※各問題に解答の数を示しています。それ以外の答えの数をマークしても正解にはなりません。

3. 机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
 4. 問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
 5. 問題は全問解答必須です。
 6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
 7. 問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
 8. 配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
- ◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

受験番号											氏名

【問題1】 ピアジェ (Piaget, J) による前操作的段階 (前操作的位相) について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 直接的な知覚や運動によって物事を認識する
2. 部分的理解はできるが全体という概念が乏しい
3. むいぐるみにも命があり、動くことができるなどと考える
4. 時間感覚がなく、昨日と今日の区別がつかない (混同的推理)

【問題2】 愛着別の子どものパターンの特徴で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 安定型では養育者と距離を保ち、抱きつくこともない
2. 混乱型では人との距離を保ち、養育者を避け、無視する
3. 回避型では養育者の存在に混乱したり奇妙なしぐさをする
4. 両価型では養育者から離れることができず、泣いてしがみつく

【問題3】 マーラー (Mahler, S) の分離固体化理論について、適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 「固体化段階」は母親から分離しても遊ぶことができる
2. 5歳までの乳幼児を継続的な観察データに基づいて構築された理論である
3. 「練習段階」から「再接近段階」では、母親を安全の基地にして探索する
4. 母親と一体感をもつ「共生段階」では母親に対する欲求は絶対的なものである

【問題4】 2023 (令和5) 年における我が国の5～9歳の死因の1位はどれか。1つ選べ。

1. 自殺
2. 心疾患
3. 悪性新生物
4. 不慮の事故

【問題5】 エリクソンの自我発達理論の説明で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 学童期の課題は積極性と劣等感である
2. 幼児期後期の課題は自律感と罪悪感である
3. 幼児期前期の課題は積極性と恥・疑惑である
4. 思春期・青年期の課題は一貫した自己を作り上げることである

【問題6】 生歯の説明で適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 乳歯は2～3歳ごろに生えそろう
2. 乳歯は18本で永久歯は28本である
3. 永久歯は12～13歳ごろに28本生えそろう
4. 永久歯の形成は妊娠中期に開始し乳幼児期に石灰化が開始する

【問題7】 骨の発育について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 年齢数に0～1個を加えた数に等しくなる
2. 出生時の化骨は1個であり、7歳ごろに成人と同じになる
3. 骨の成熟の程度を年齢の単位であらわしたものを骨年齢という
4. おもに手根骨や足跗骨等の骨形成の程度をX線撮影にて評価する

【問題8】 学童期の食生活と栄養について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 脂質エネルギーの比率は10～15%である
2. 学童期後半のたんぱく質必要量は男女ともに40g/日である
3. 6～7歳のエネルギー必要量は男女とも1,700kcal/日である
4. 学童期後半の男児は女児に比べてカルシウムが不足しやすい

【問題9】 学校保健統計調査（令和3年）による主な疾患・異常罹患率の推移について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 幼稚園・小学校では、龋歯が最も高くなっている
2. 裸眼視力が1.0未満の割合は、中学校で50%程度である
3. 裸眼視力が1.0未満の割合は、中学校・高等学校で最も高くなっている
4. 龋歯は幼稚園～高等学校までのすべての段階で15年前の半数に改善している

【問題10】 小児期における消化器の特徴で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 胃の形状は10～12歳で成人と同じになる
2. アミラーゼの活性は12～13歳で成人と同程度になる
3. 溢乳は乳児の幽門部の機能が未熟なため起こりやすい
4. 膵リパーゼの活性は6～9歳ごろ、成人と同程度になる

[問題11] 發育性股関節形成不全（先天性股関節脱臼）について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 脱臼を診断するクリックサインは股関節の開排制限を示す
2. 最も普及しているのはリーメンビューゲルによる治療法である
3. 大腿皮溝の非対称や両下肢を伸ばしたときの長さの差がみられる
4. おむつや衣服の不適切な着用による不良肢位が脱臼の原因になることもある

[問題12] 先天異常の疾患で適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. アジソン病は後天性副腎皮質機能低下症である
2. 先天色覚異常は伴性優生遺伝疾患であり5%の頻度でみられる
3. 軟骨無形成症は頭部が大きく前額部が突出した特有の願望がみられる
4. ピエール・ロバン症候群は小顎症と舌根沈下による吸気性喘息を主徴とする

[問題13] 突発性発疹について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 発疹の掻痒感はないが消退には1か月程度持続する
2. 高熱とともに全身に紅斑が生じるが全身状態は良いことが多い
3. 原因はアデノウイルス（Ad）3, 4, 5の感染で潜伏期は5～7日である
4. 原因はヒトヘルペスウイルス6型（HHV-6）や7型（HHV-7）等の感染である

[問題14] アレルギー疾患について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 小児喘息の基本的病態は気道の慢性炎症である
2. 食物アレルギーはIgE依存性とIgE非依存性に分類される
3. 喘息発作の誘因はアレルゲンだけではなく運動や天気の変化など多様にある
4. IgE依存性食物アレルギーの有病率は急増しており乳幼児期で30%と推定される

[問題15] 血友病について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 血友病は男性人口10万人あたり6.4の有病率を示す
2. 血友病はX連鎖劣性遺伝を示す先天性凝固異常症である
3. 重症例では乳児期より皮下出血・口腔内出血などで発症する
4. 治療は欠乏している第Ⅲ因子または第Ⅺ因子を静脈内投与して補充する

[問題16] 小児看護において留意されるべき子どもの権利について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. プライバシーの保護
2. 家族からの分離の禁止
3. 長期入院の子どもの優遇
4. 教育や遊びの機会の保証

[問題17] 学校保健安全法について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 対象は学校における児童生徒である
2. 学校安全計画の策定は教職員と警察署が担う
3. 就学時や毎学年定期の健康診断の実施が規定されている
4. 1947（昭和22）年に「学校保健法」として制定され2008（平成19）年に「学校保健安全法」に改称された

[問題18] 母子保健法で規定されている事業はどれか。1つ選べ。

1. 養育医療
2. 一時預かり事業
3. 養育支援訪問事業
4. 乳児家族全戸訪問事業

[問題19] 幼児期に獲得すべき食行動について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 食への興味や食べる楽しみを経験させる
2. 3歳ごろまでは手づかみ食を十分に経験させる
3. 主食・副食を交互に食べるなどの食べ方を伝える
4. 「食べ物で遊ばない」や「食事中立ち歩かない」などを学ばせる

[問題20] 予防接種について誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. BCGは「結核予防法」で実施されている
2. 1948（昭和23）年に「予防接種法」が制定された
3. ロタウイルスワクチンは定期接種として実施されている
4. HPVワクチンは11～16歳女子を対象に定期接種で実施されている

[問題21] 学童期・思春期の肥満・痩身傾向児について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 肥満傾向児は肥満度 20%以上と定義されている
2. 痩身傾向児は肥満度 -20%以下と定義されている
3. 肥満傾向の男子は8～17歳で20%を超え増加している
4. 栄養教諭は肥満防止だけでなく食育や学校給食の指導を行う

[問題22] 「学校保健安全法」において解熱後3日間の出席停止が規定された感染症はどれか。1つ選べ。

1. 麻疹
2. 風疹
3. 咽頭結膜熱
4. インフルエンザ

[問題23] 「児童虐待防止法」で定義された分類で「心理的な虐待」の具体例は以下のどれか。1つ選べ。

1. 季節外れの服装をしている
2. 体重が同年齢標準よりも極端に軽い
3. 病気になっても病院に連れて行かない
4. 他のきょうだいとは著しく差別的な扱いをする

[問題24] 5歳児における排泄行動の発達で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 排便後の後始末ができる
2. 尿意を伝えることができる
3. 排尿は一人でできるようになる
4. 遊びに夢中になっても排尿の失敗がなくなる

[問題25] 思春期の人々の生活と健康問題について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 夜更かし・睡眠不足は自律神経の失調や慢性疲労感を生じさせる
2. 2020年の中学生の不登校は13万2,777人で2001年の2倍となっている
3. 就寝時刻の平均は23時50分以降で睡眠時間は40年前より45分程度短い
4. 摂食障害は女子に多く極端な食事制限による貧血・無月経・骨粗しょう症が生じる

[問題26] 遊びについて正しい説明はどれか。1つ選べ。

1. 連合遊びではリーダーの存在や役割の分担がみられる
2. 傍観者遊びは他の子どものそばでその子が遊ぶ姿をみて楽しむ
3. 協同遊びでは同じ内容の遊びを複数名で行いおもちゃの貸し借りもある
4. 2歳ごろに多い並行遊びは同じ遊びを他の子どもと並んでするが交渉はない

[問題27] 母子保健の指標の説明で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 死産とは、妊娠22週以後の死児の出産のことをいう
2. 合計特殊出生数が2.07を下回ると、長期的には人口が減少する
3. 乳児死亡率は出生数1,000対生後28日未満の死亡数の割合である
4. 一人の女性が生涯に何人の子どもを産んだかの数値を合計特殊出生率という

[問題28] 免疫グロブリンの説明で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. IgMは3歳ごろに成人と同じレベルに達する
2. IgGは3歳ごろに成人と同じレベルに達する
3. 母乳から分泌型IgAを受け取ることができる
4. 母体由来のIgMは生後6か月ごろに消失する

[問題29] 乳幼児健康診査について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 受診率は3～5か月が最も低い
2. 受診率は70%程度で推移している
3. 受診率は80%程度で推移している
4. 受診率は95%程度で推移している

[問題30] 情緒の分化について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 生後3か月頃に快・不快の分化が生じる
2. 1歳半ごろには愛情や嫉妬も示すようになる
3. 3歳までにはおとなのもつ情緒のほとんどが現れる
4. 生後6～7か月ごろから人見知りが見られるようになる

[問題31] 小児の一時救命処置において奨励される胸骨圧迫の1分間の回数はどれか。1つ選べ。

1. 60～80回/分
2. 100～120回/分
3. 130回/分
4. 140回/分

[問題32] 転倒・転落防止について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. サークルベッドの柵は必ず中段までは上げておく
2. ベッド内には子どもの好きなおもちゃの箱や本を置く
3. 嫌がるときも工夫して車椅子のベルトで体を固定する
4. 子どもの主体性や意思決定を尊重してサンダルも認める

[問題33] 医療的ケア児の支援体制として適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 医療的ケアコーディネーターを育成する
2. 特別支援学校への受け入れ体制を強化する
3. 教職員や保育士等への医療的ケアの教育を充実する
4. 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法に基づく

[問題34] 肥厚性幽門狭窄の説明で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 男女比は2:3で女児に多い
2. 発生頻度は2～5%程度である
3. 上腹部にオリーブ様の腫瘤を触知する
4. 生後2～3か月ごろに発症することが多い

[問題35] ヒルシュスプルング病の説明で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 男女比は1:3で女児に多い
2. 発生頻度は1,500人に1人程度である
3. 腸管壁内神経節細胞の欠如により発症する
4. 病変部はS字結腸以下の例が30%を占める

[問題36] 常染色体異常はどれか。2つ選べ。

1. クラインフェルター症候群
2. ターナー症候群
3. ダウン症候群
4. 脆弱X症候群
5. 5p-症候群

[問題37] スキャモンの発育曲線（下の図）で→が示す成長曲線はどれか。1つ選べ。

1. 神経系
2. 生殖器系
3. リンパ系
4. 内分泌器系

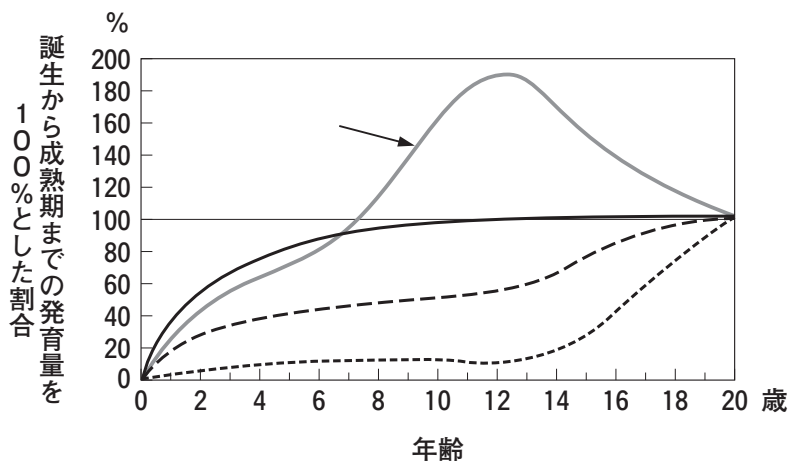


図 スキャモンの発育曲線

[問題38] 身体の形態的特徴で誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. ローレル指数では思春期は体重の増加率が身長増加率より上回っている
2. 身長・体重・胸囲・坐高は11歳頃までは女子が男子を上回る
3. 遺伝因子による身長高低は2歳頃にあられる
4. 新生児脳重量は成人脳重量の1/3である

[問題39] 新生児の生理について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 新生児の腎臓の糸球体の濾過率は成人の60%である
2. 出生直後の赤血球数は生後1歳の値より多い
3. 新生児の水分量は体重の60%以上である
4. 尿細管の機能は成人とほぼ同様である
5. 出生時の凝固系因子は成人より少ない

[問題40] 乳児を対象とする定期予防接種はどれか。1つ選べ。

1. 流行性耳下腺炎ワクチン
2. 麻疹・風疹ワクチン
3. 肺炎球菌ワクチン
4. 水痘ワクチン

[問題41] 食物アレルギーのある子どもへの対応で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 誤嚥に注意して水分補給する
2. 自己注射薬エピペンを使用する
3. 副腎皮質ステロイド薬を吸入する
4. アレルゲンとなる食品の情報を共有する

[問題42] 幼児期の食事で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. おやつ（間食）は嗜好品である
2. 献立は子どもの嗜好に合わせる
3. 偏食がある場合は早期に矯正を行う
4. 1回の食事は20～30分程度とする

次の文を読み、[問題43]～[問題45]に答えなさい。

A君(9歳、男児)は、両親と弟(5歳)と4人暮らし。両親は仕事で忙しく、学校から帰宅後は、近所の祖父母宅で過ごしており、いつでも祖父母宅で飼っている猫と遊んでいた。2、3日前より咳嗽と鼻汁が出ていたが、熱がないため市販薬で様子を見ながら登校していた。本日、学校から帰宅後に咳嗽が多くなり、息苦しそうにしているため、祖母と一緒に近医の救急外来を受診した。受診時のバイタルサインは、体温36.8℃、呼吸数32/分、脈拍118/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉93% (room air)であった。A君は気管支喘息と診断され、緊急入院となった。

[問題43] A君の状態と考えられるのはどれか。1つ選べ。

1. 小発作
2. 中発作
3. 大発作

[問題44] A君への看護で最も適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 浅く速い呼吸を促す
2. 移動は車椅子で行う
3. 副腎皮質ステロイドの吸入を行う
4. 咳嗽時は積極的に水分摂取を促す

[問題45] 症状が軽快し、A君は退院できることとなった。A君に対する退院後の注意点で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 「猫には触れないようにしましょう」
2. 「息が苦しくなったらしゃがみましょう」
3. 「息苦しいときはすぐに近くの人に伝えましょう」
4. 「お昼の薬は担任の先生に渡して飲ませてもらいましょう」

